

# 株式会社アバールデータ

2016年3月期 第2四半期決算説明会



2015年11月25日

株式会社アバールデータ  
厚木事業所

1. 会社概要
2. 2016年3月期（第57期）第2四半期業績報告  
2016年3月期（第57期）業績予想
3. 今後の展開

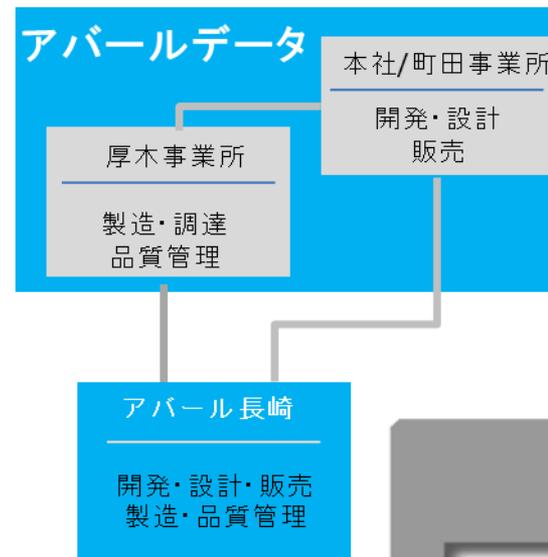
# 株式会社アバーलデータ 会社概要



私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

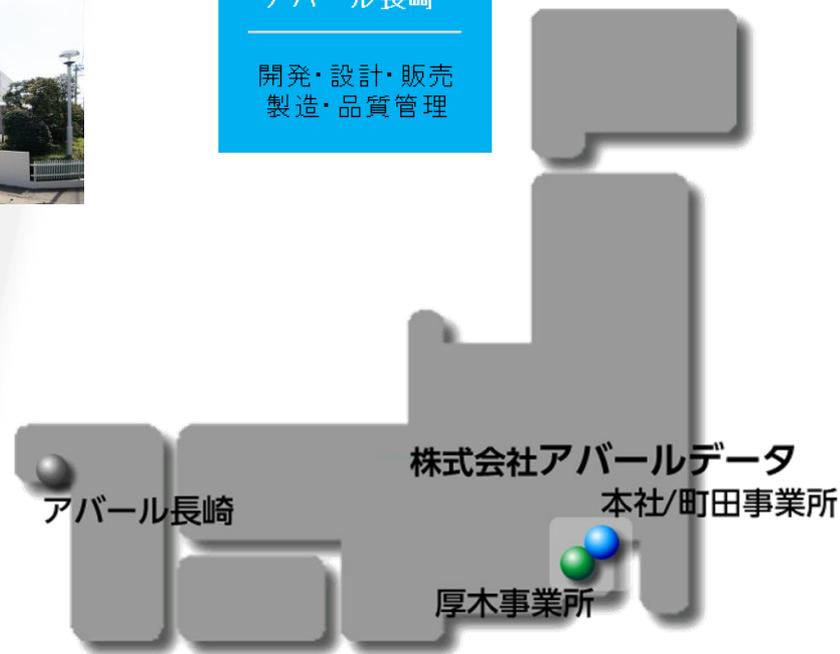
## 株式会社アバールデータ

- ★本社・町田事業所 東京都町田市
- ★厚木事業所 神奈川県厚木市
- ★設立 1959年8月
- ★資本金 23億5409万円
- ★従業員 175名
- ISO9001認証取得 (1995年)
- ISO1401認証取得 (2001年)
- 土地面積 6,426m<sup>2</sup>(町田 1,977m<sup>2</sup> 厚木 4,449m<sup>2</sup>)
- 延床面積 6,934m<sup>2</sup>(町田 2,957m<sup>2</sup> 厚木 3,977m<sup>2</sup>)



## 株式会社アバール長崎

- ★本社 長崎県諫早市
- ★設立 1987年11月
- ★資本金 1億3400万円
- ★従業員 125名
- ISO9001認証取得 (1996年)
- ISO1401認証取得 (2006年)
- 土地面積 8,885m<sup>2</sup>
- 延床面積 3,655m<sup>2</sup>

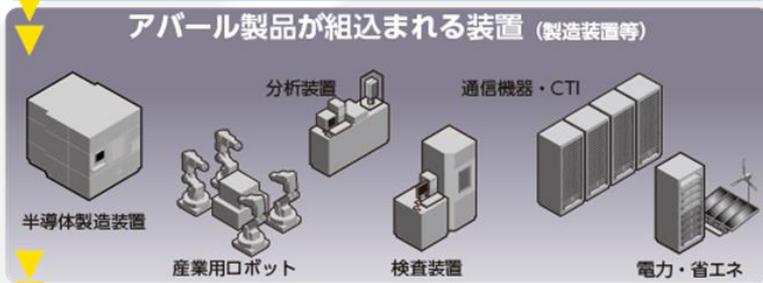


- 1959 ● 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立
- 1979 ● 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表
- 1987 ● 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立
- 1989 ● 社名を「株式会社アバールデータ」に変更
- 1991 ● 店頭銘柄として新規登録(現 東証JASDAQ)
- 1996 ● (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化
- 2002 ● 高速光通信Giga Channelを独自企画、販売開始
- 2010 ● (株)アバール長崎:「スマートパワーシステム」シリーズ、販売開始
- 2011 ● 日本インダストリアルイメージング協会CoaXPress国際基準画像処理モジュール、販売開始
- 2012 ● 超高速光通信カメラインターフェースOpt-C:Linkを独自企画、販売開始
- 2013 ● 「医療機器製造業許可:一般」の許可取得
- 2014 ● カラー光切断法による三次元形状測定システム、開発
- 2015 ● 短波長赤外線カメラ、ABA-003IR開発、販売開始

産業用装置向けの製品は、一般家庭のパソコン製品と区別して、  
「**組込み**」製品と言います。

## アバールデータの関連事業分野と利用製品

世の中の身近な製品につながるアバール製品



産業用装置の  
要求に応える製品

**信頼性**  
止まらない

**高速性**  
大容量データ

**長期供給**  
製品寿命

様々な使用環境

24 時間フル稼働

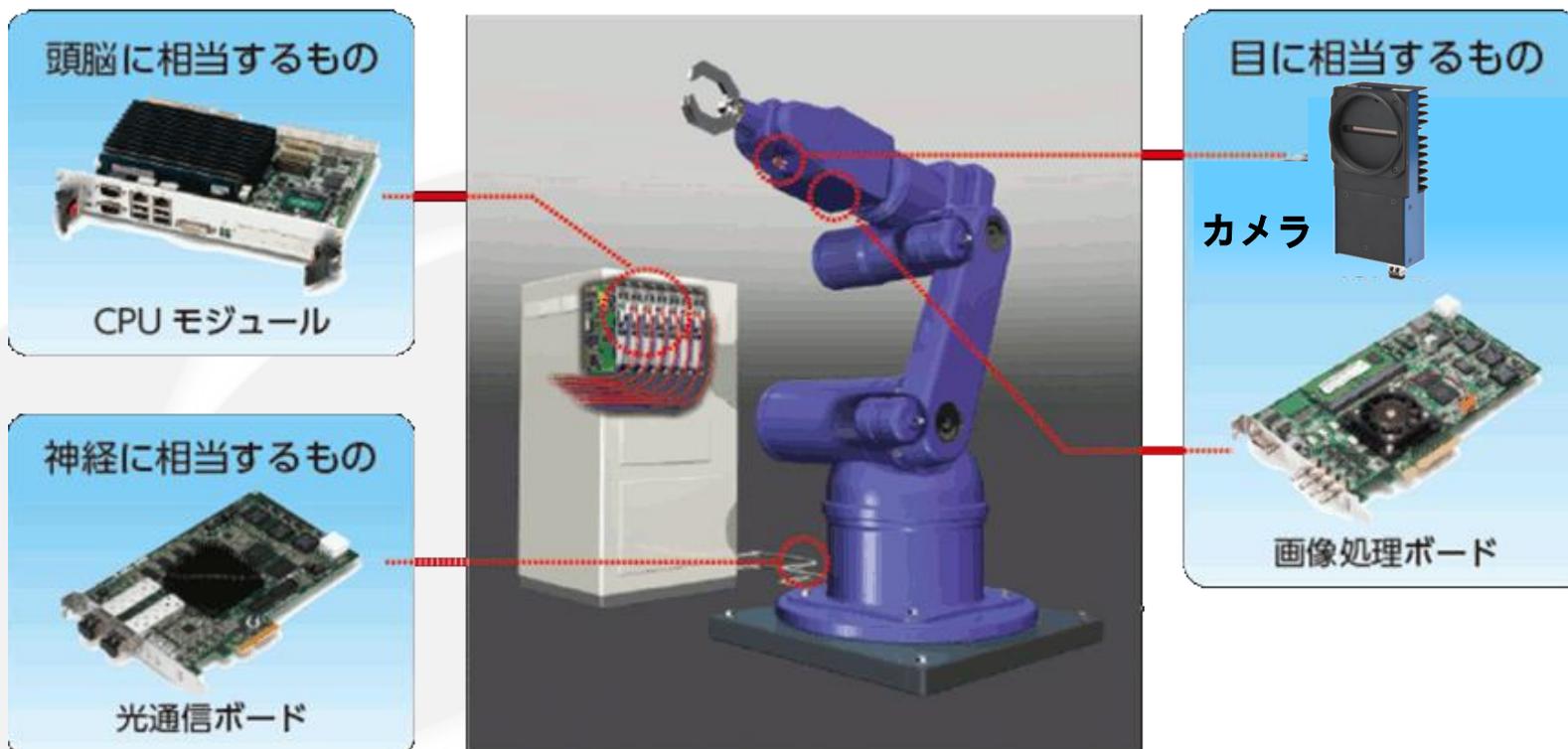
長期間運用

工場・公共施設など  
使用環境からの要求

**産業機器のために  
設計された機器**

**日本のモノ作りを支える  
縁の下の力持ち**

アバールデータは組込み分野の製品を販売しているのですが、  
そもそも「**組込み**」とは何でしょうか？



産業用装置は、様々な機能の製品が組み合わされて構成されます。

## 組み込みモジュール

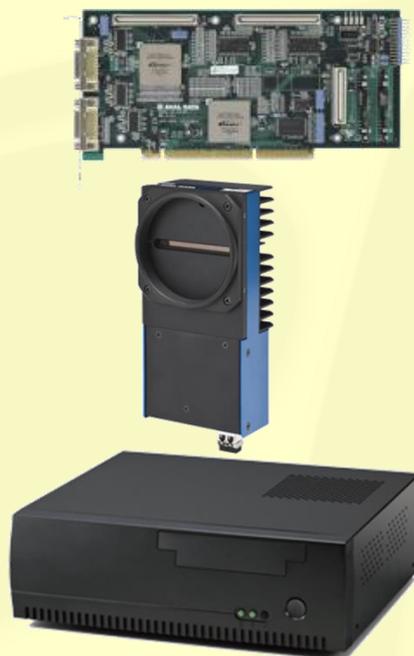
組み込み分野で業界をリードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機で活躍しています。

## 画像モジュール

画像処理ボードで国内トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に使用します。

## 計測通信機器

産業用通信で最高速を誇るGigaチャンネル



機器間の高速通信に使われます。

国内市場をリードするCT技術と製品



FAX,コールセンター等で使われています。



スマートパワーシステム

## 「超高速」がキーワード

組込み・画像・通信のノウハウを自由に組み合わせてシステムの高速化設計を行える会社は少なく、これが当社の大きな強みです。



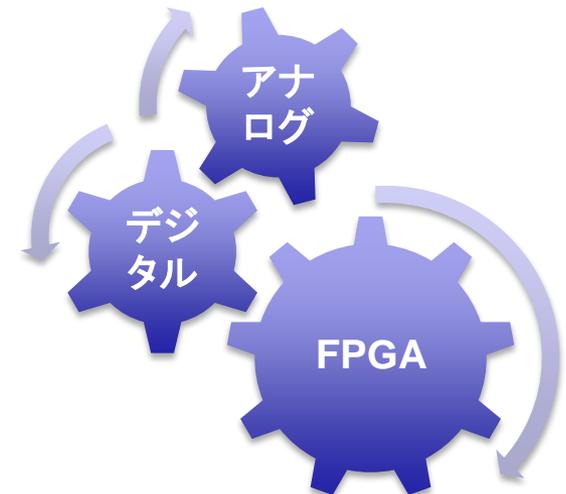
## 組込み



- ・デジタル／アナログの製品開発が可能
- ・FPGA※の高度な設計ノウハウを保有
- ・組込み用ソフトウェアに精通

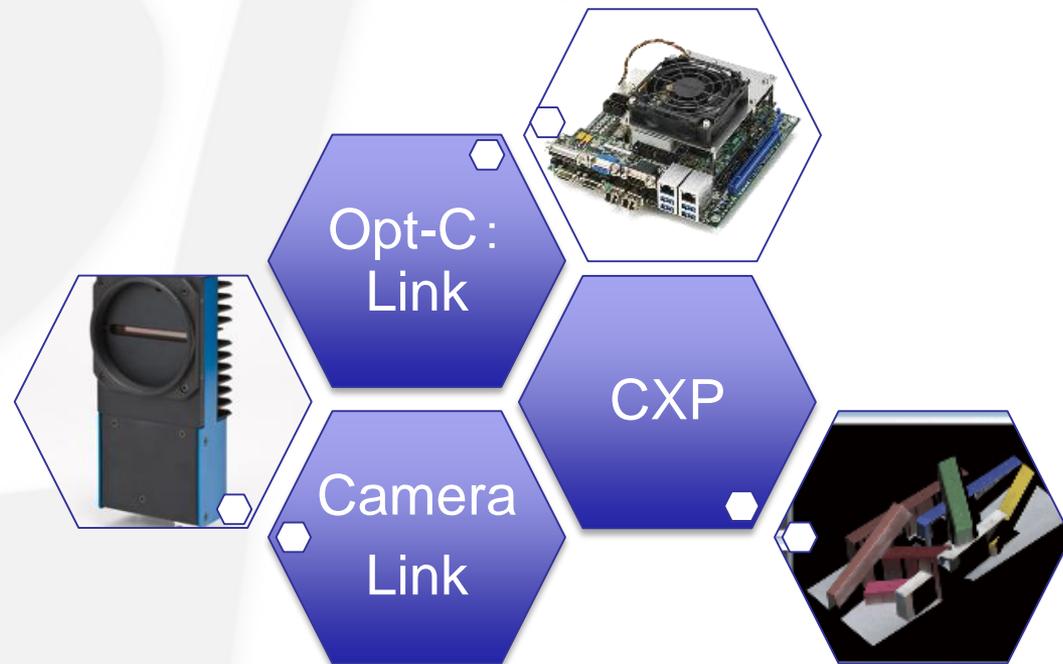
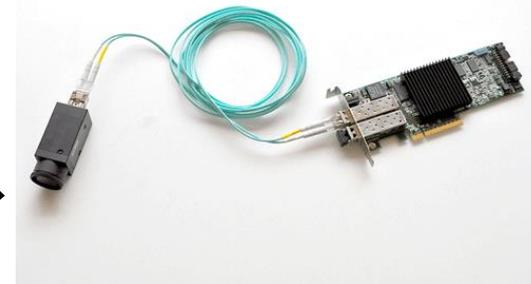


※FPGA (Field Programmable Gate Array)  
回路の書き換えが可能なロジック・デバイス



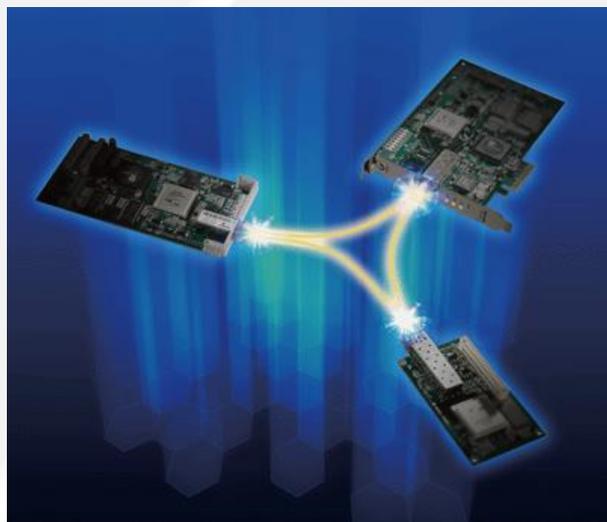
## 画像キャプチャ(取り込み)

- ・キャプチャボードでは、トップクラス
- ・近赤外線カメラの開発を推進
- ・3D計測で独自アルゴリズムを保有

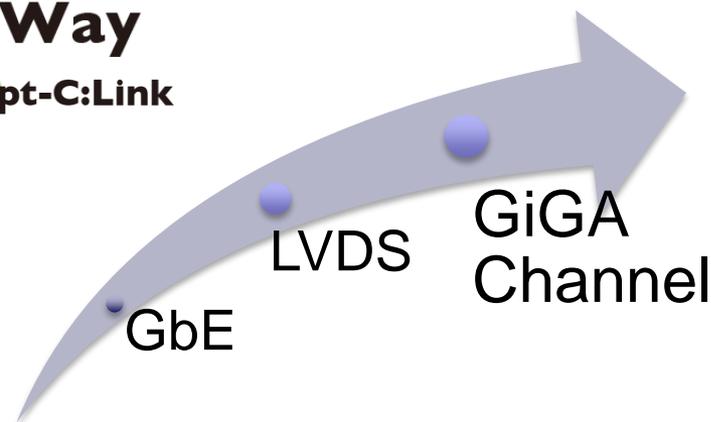


# 超高速通信

- ・光通信の独自ノウハウを保有
- ・色々な製品に適応可能
- ・最先端の高速センサーに追従可能

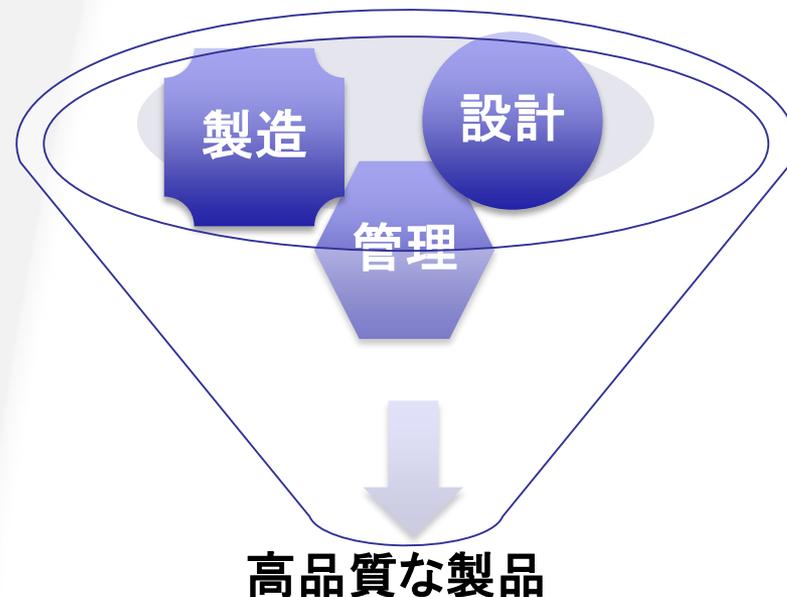


  
**Opt-HighWay**  
 GiGA CHANNEL®  Opt-C:Link



## 自社工場

- ・設計と製造が一体となった総合品質
- ・出荷後のトレーサビリティ
- ・少量多品種の対応





**A** AIP

画像



**X** Express Converter

高速アナログ



**GIGA CHANNEL**

光通信



スマートカメラ

# 株式会社アバールデータ



2016年3月期（第57期）第2四半期

業績報告および業績予想

2016年3月期（第57期）第2四半期業績報告

[期間:2015年4月1日-2015年9月30日]

2016年3月期（第57期）通期業績予想

[期間:2015年4月1日-2016年3月31日]

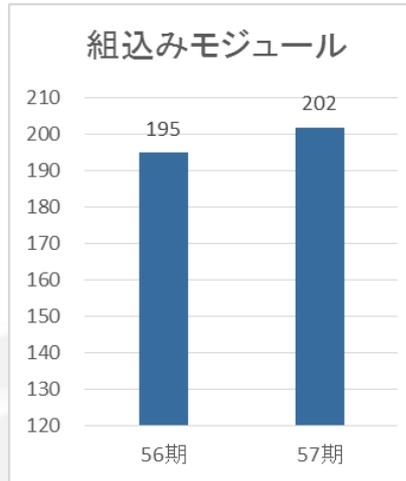
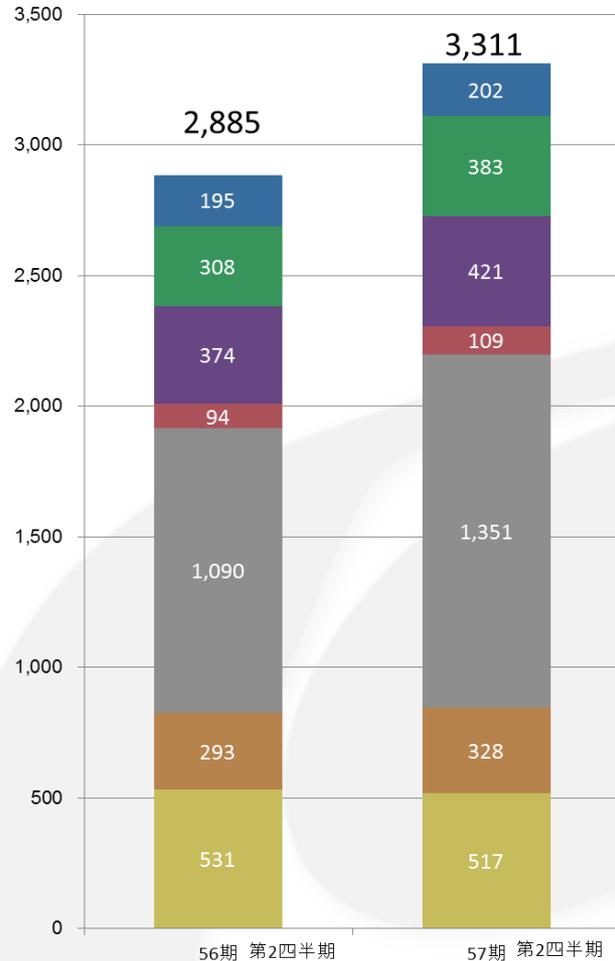
## 2015年3月期上期を100として半期比較

品目		期	2015年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2016年3月期
			上期実績 (1Q～2Q)	下期実績 (3Q～4Q)	上期実績 (1Q～2Q)	下期計画 (3Q～4Q)
セグメント	自社製品	組込モジュール	100	128	104	153
		画像処理モジュール	100	124	124	126
		計測通信機器	100	107	113	108
		自社製品関連商品	100	128	116	123
		自社製品小計	100	119	115	124
	受託製品	半導体液晶装置関連	100	144	124	107
		産業用制御機器	100	113	112	113
		計測機器	100	79	97	129
		受託製品小計	100	121	115	114
	売上合計			100	120	115

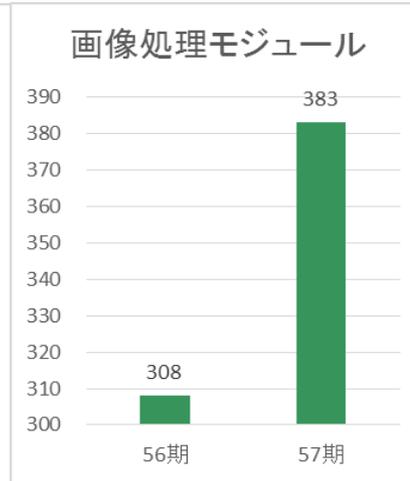
# 2016年3月期 第2四半期 売上前年対比

2015年3月期(第56期) - 2016年3月期(第57期)

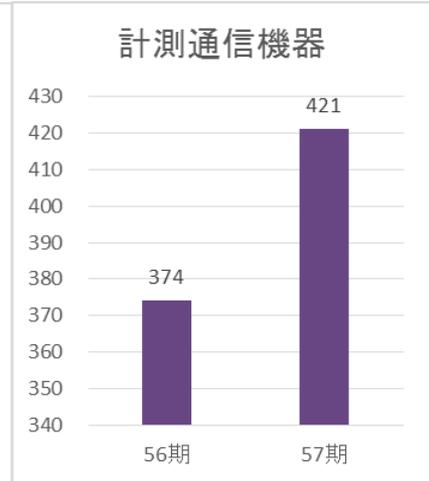
## 自社製品



増減 +7 +3.7%

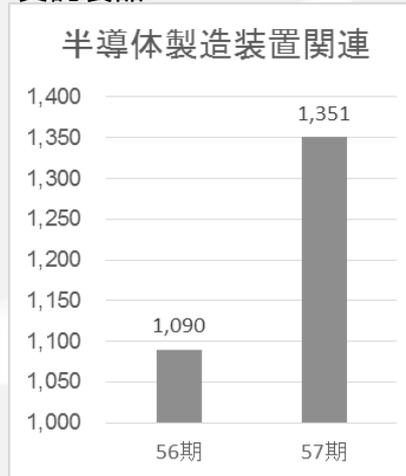


増減 +75 +24.4%

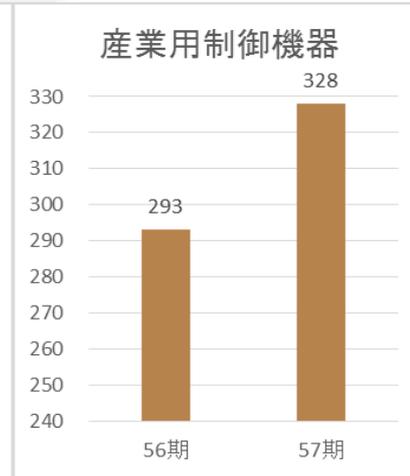


増減 +47 +12.5%

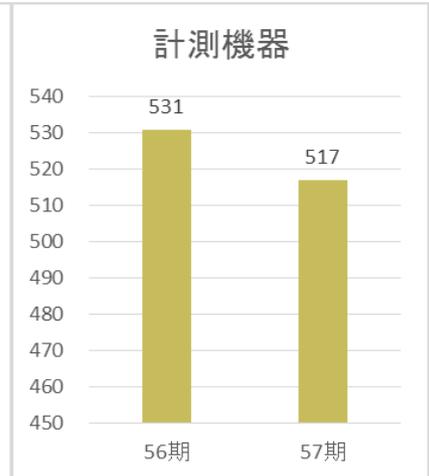
## 受託製品



増減 +261 +24.0%



増減 +35 +11.8%



増減 -14 -2.6%

- 計測機器
- 産業用計測機器
- 半導体製造装置関連
- 商品(自社製品関連)
- 計測通信機器
- 画像処理モジュール
- 組込みモジュール

注) グラフの目盛は半導体装置関連のみ5千万円ピッチ、他は1千万円ピッチ

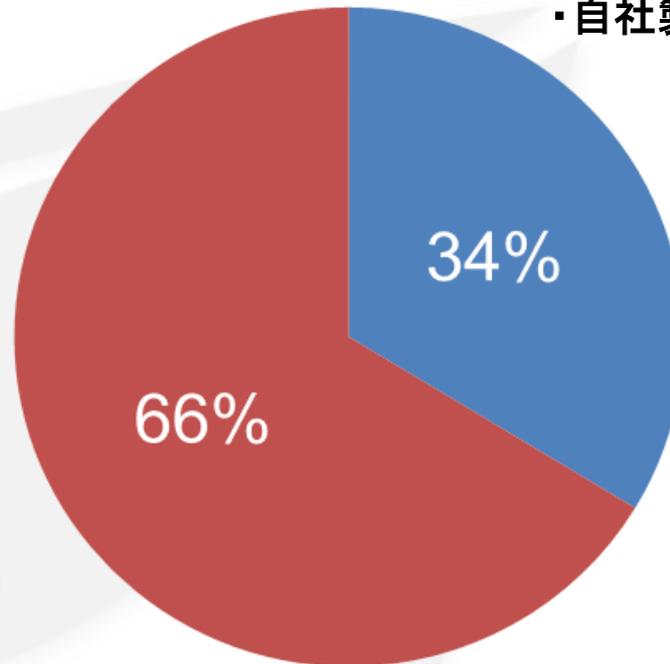
項目		第57期2015年4-9月期 (第2四半期累計)実績		第57期2016年3月期 (通期)計画	
品目	セグメント	売上	前年同期 増減率	売上	前年同期 増減率
自社製品	組込みモジュール	202	3.7 %	500	12.5 %
	画像処理モジュール	383	24.4 %	770	11.5 %
	計測通信機器	421	12.5 %	825	6.4 %
	自社製品関連商品	109	16.0 %	225	5.3 %
	小 計	1,115	14.8 %	2,320	9.2 %
	セグメント利益	230	67.8 %	—	—
受託製品	半導体製造装置関連	1,351	24.0 %	2,520	△ 5.1 %
	産業用制御機器	328	11.8 %	660	5.9 %
	計測機器	517	△ 2.6 %	1,200	26.6 %
	小 計	2,196	14.7 %	4,380	3.6 %
	セグメント利益	281	41.0 %	—	—
売上合計		3,311	14.8 %	6,700	5.5 %
営業利益		269	169.8 %	520	20.1 %
経常利益		293	139.5 %	550	17.2 %
当期純利益		198	153.8 %	355	16.0 %

(注) 連結各セグメント利益合計511百万円と営業利益269百万円との差額242百万円はセグメントに属さない全社費用等。

セグメント別売上比率(3,311百万円)

自社製品(1,115百万円)

- ・組込みモジュール
- ・画像処理モジュール
- ・計測通信機器
- ・自社製品関連商品



■ 自社製品

■ 受託製品

受託製品(2,196百万円)

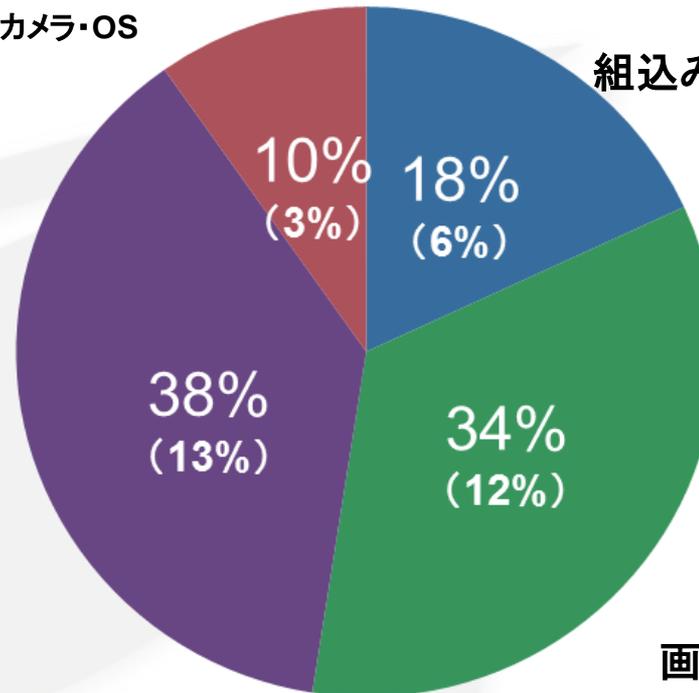
- ・半導体製造装置関連
- ・産業用制御機器
- ・計測機器

グラフのカッコ内の数字は全売上に占める比率です。

## 自社製品売上比率(1,115百万円)

自社製品関連商品(109百万円)

産業用カメラ・OS



組込みモジュール(204百万円)

CPU・アナログ製品

- 組込みM
- 画像処理M
- 計測通信機器
- 商品

計測通信機器(421百万円)

光通信(ギガチャネル)

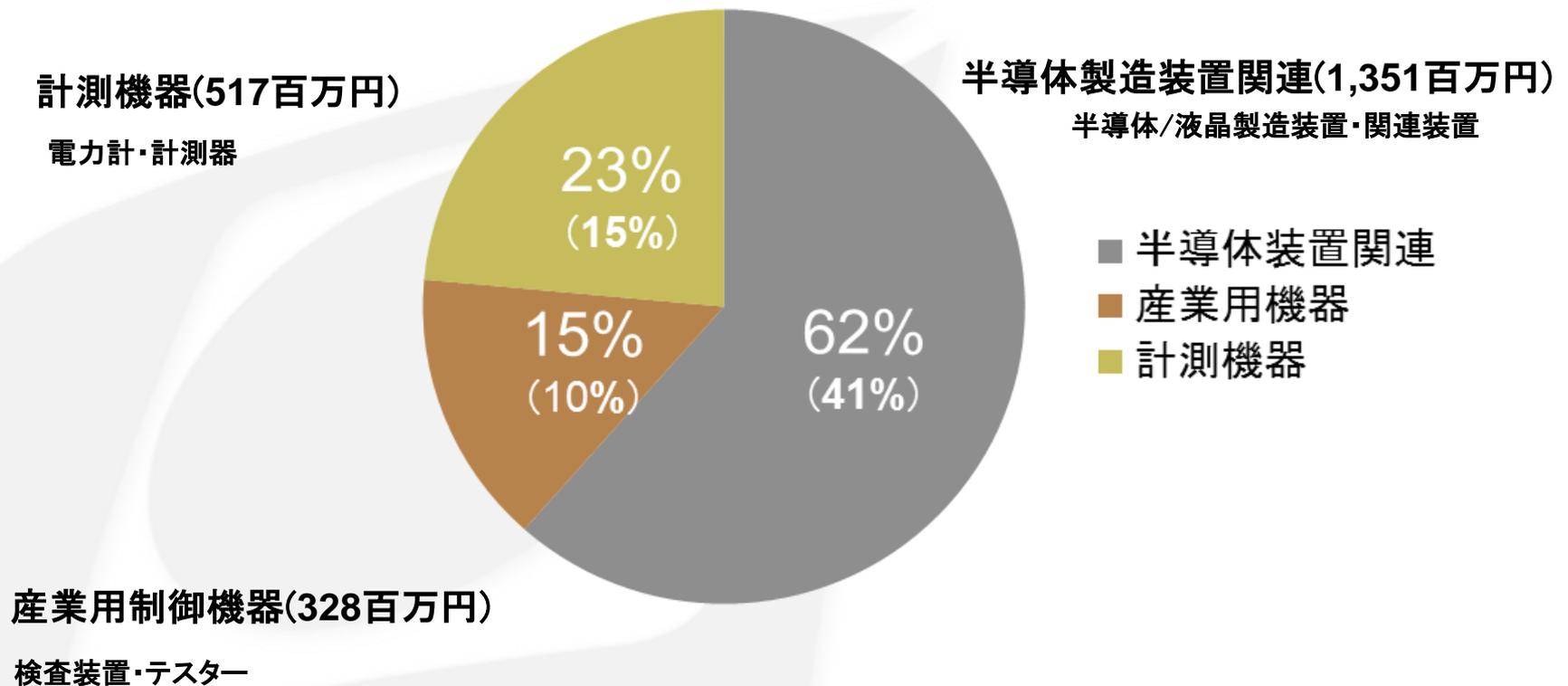
CTI (ファックスサーバー)

画像処理モジュール(383百万円)

Camera I/F・CoaxPress・GigE

グラフのカッコ内の数字は全売上に占める比率です。

## 受託製品売上比率(2,198百万円)





## 組み込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般及び医療機器関連における新規受注が貢献し、売上高は増加。

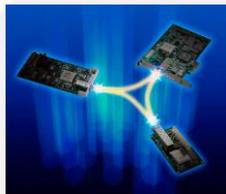
→売上高 202百万円(前年同期比3.7%増)



## 画像処理モジュール分野(自社製品)

- FA全般及び液晶関連装置はいまだ本格的な回復に至らず。新製品の立ち上がりに加え、食品、医療品などの新分野での営業開拓が順調、売上高は、増加。

→売上高 383百万円(前年同期比24.4%増)



## 計測通信機器分野(自社製品)

- CTI製品は堅調。
- 超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、新規検査装置向けの開拓が順調。売上高は増加。

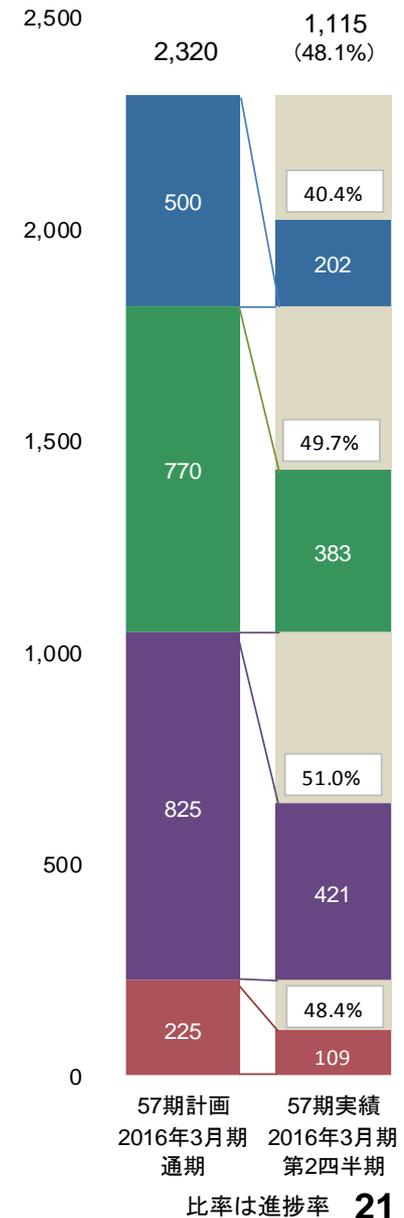
→売上高 421百万円(前年同期比12.5%増)

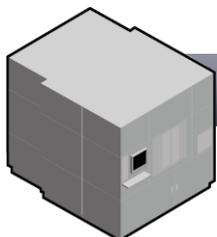


## 商品(自社製品関連)

- 自社製品関連商品は、自社製品全般の回復傾向により、売上高は増加。

→売上高 109百万円(前年同期比16.0%増)

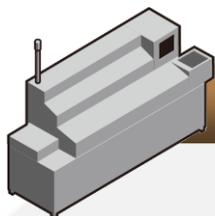




## 半導体製造装置関連分野(受託製品)

- 大手半導体メーカーのLSI微細化が続き、最先端の半導体製造装置への設備投資により、売上高は増加。

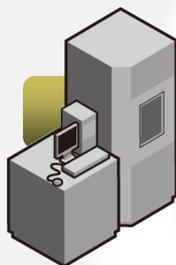
→売上高 1,351百万円(前年同期比24.0%増)



## 産業用制御機器分野(受託製品)

- 各種の産業用検査装置の新規展開に加え社会インフラ関連が好調、売上高は増加。

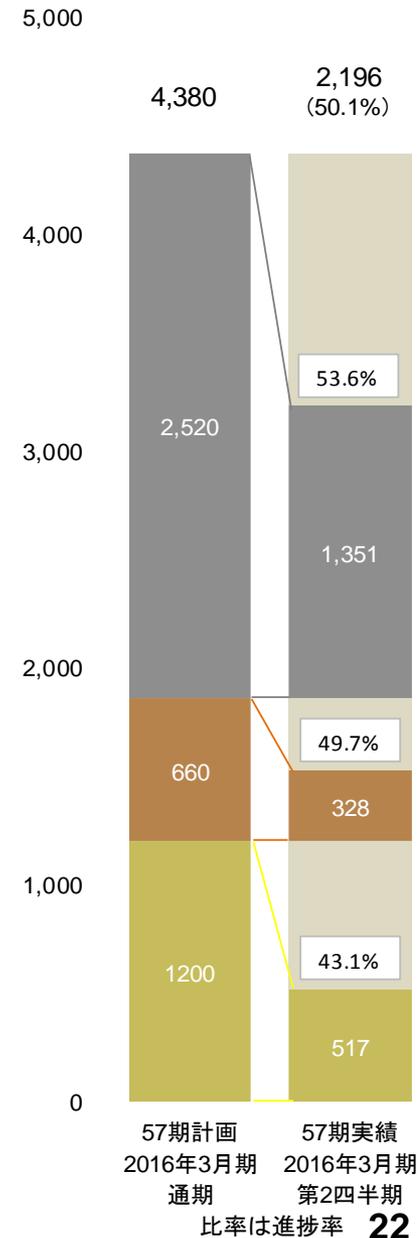
→売上高 328百万円(前年同期比11.8%増)



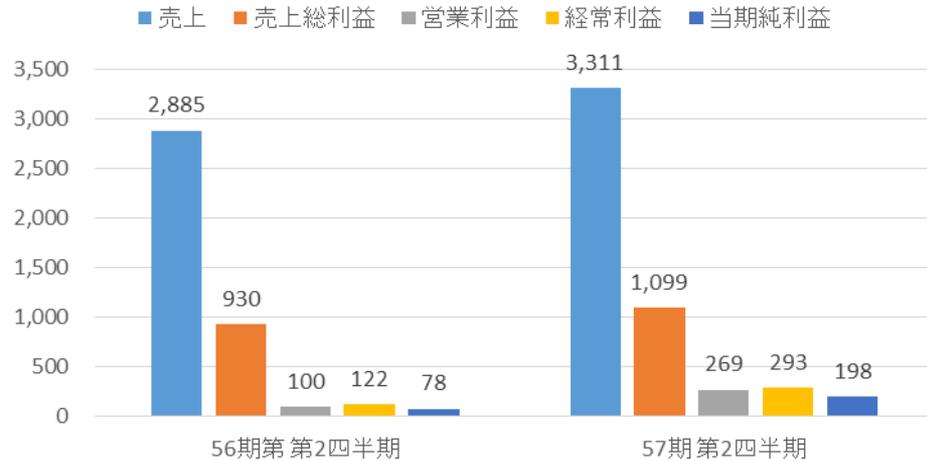
## 計測機器分野(受託製品)

- 各種計測機器の受注の回復傾向にありますが、売上高はわずかに減少。

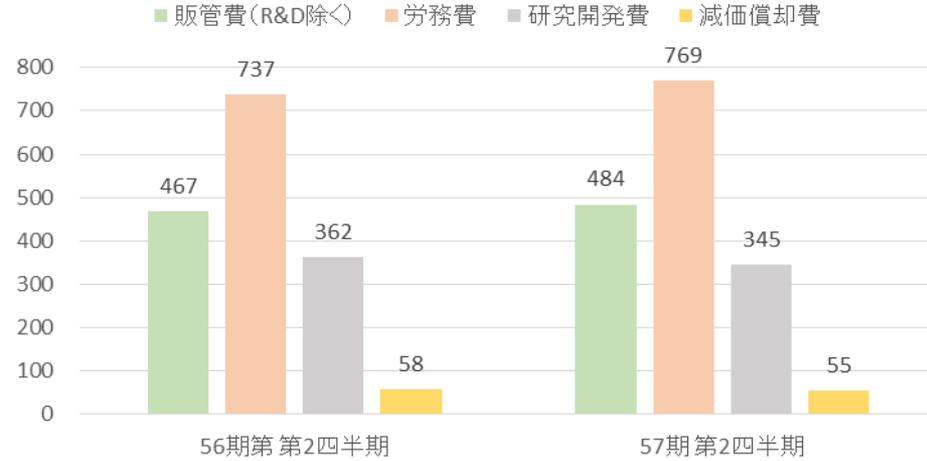
→売上高 517百万円(前年同期比2.6%減)



## 売上・利益



## 経費



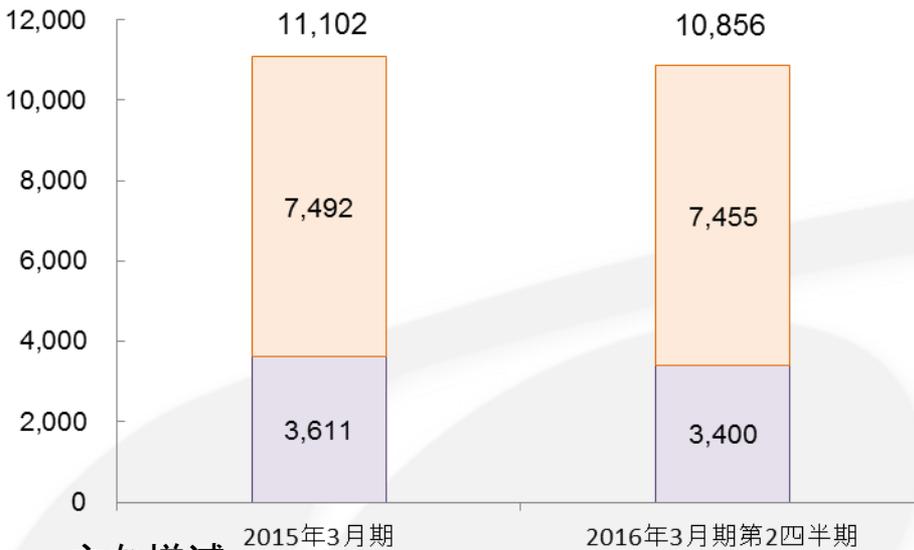
売上高	増減	426	増減率	14.8 %
売上総利益	増減	169	増減率	18.2 %
営業利益	増減	169	増減率	169.8 %
経常利益	増減	171	増減率	139.5 %
当期純利益	増減	120	増減率	153.8 %

販管費(R&D除く)	増減	17	増減率	3.6 %
労務費	増減	32	増減率	4.4 %
研究開発費	増減	△ 17	増減率	△ 4.8 %
減価償却費	増減	△ 2	増減率	△ 3.6 %

## ➤ 自己資本比率 78.2% (2.2ポイントアップ)

### 資産の部

■ 固定資産 ■ 流動資産



#### 主な増減

**流動資産** △ 36

現金・預金 41

受取手形・売掛金・電子債権 △ 136

棚卸資産 46

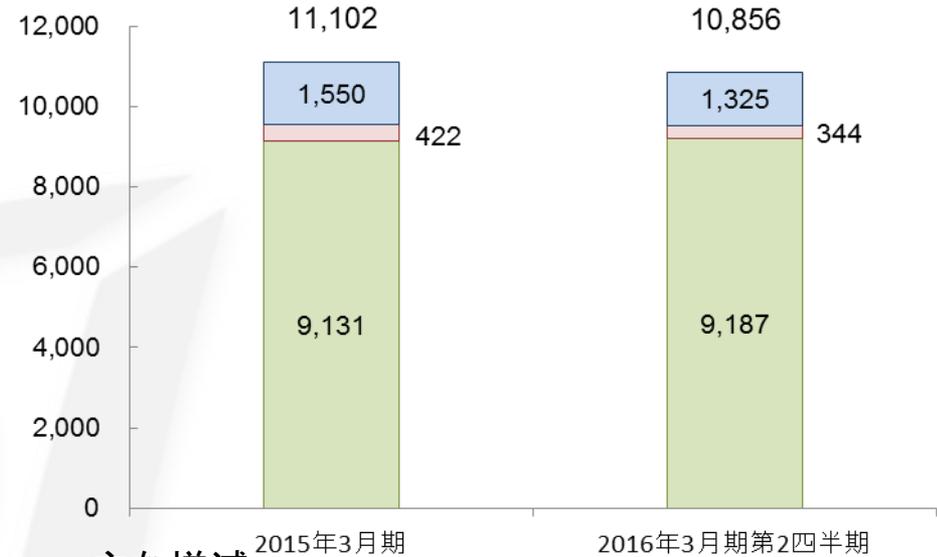
**固定資産** △ 210

投資有価証券 △ 173

有形・無形固定資産 △ 36

### 負債及び純資産の部

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



#### 主な増減

**流動負債** △ 225

未払法人税等 60

未払金・未払消費税 △ 47

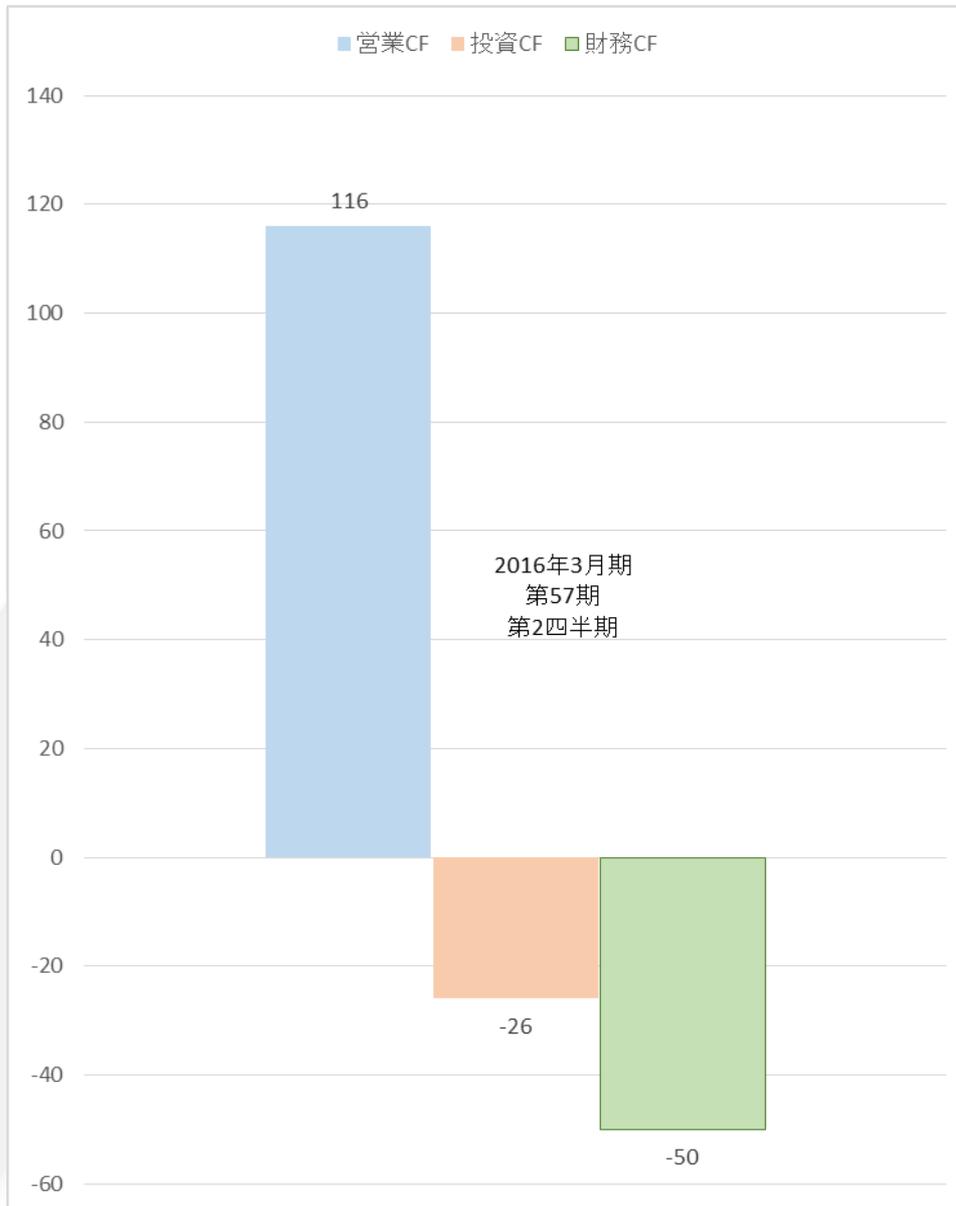
支払手形・買掛金 △ 239

**固定負債** △ 78

繰延税金負債 △ 53

**純資産** 56

## 2015年3月期(第56期) — 2016年3月期(第57期)



### 2016年3月期(第57期) 第2四半期 CF

**営業活動によるCF** 116

税金等調整前当期純利益 293

減価償却費計上 61

売上債権の減少 136

仕入債務の減少 △ 240

棚卸資産の増加 △ 46

法人税等の支払い △ 25

**投資活動によるCF** △ 26

固定資産の取得 △ 26

**財務活動によるCF** △ 50

借入金の返金 △ 15

当社株式配当金支払い △ 69

自己株式の売却 36

## 既存製品のシリーズ強化と利便性追求

### 組込

Intel 超高速MPUボード シリーズ化

ACP-140シリーズ ACP-141シリーズ

小型プラットフォームASB・ASIシリーズ



### 画像

超高速画像処理ボード

APX-3326/APX-3327他



次世代カメラインターフェース 製品強化

CoaXPress対応APX-3664



赤外線カメラ

SWIR エリアカメラ ABA-003IR

SWIR ラインセンサーカメラ ABL-005IR 開発中

### 通信

更なる高速化/ローコストシリーズ実現

28Gbit/秒 APX-7142

40Gbit/秒 APX-7402



## 新規分野への挑戦

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇔デジタル変換ボード

APX-5040・APX-5050 ADO-1616-STD

APX-5200 シリーズ化



Opt-C:Link

光I/F グラバーボード

APX-3800・APX-3881



スマートグリッド

インテリジェント電源 大容量シリーズ

スマートパワー・システム



テーマよりも高速により精細に！

# 今後の展開

# AaA

actionandachievement

実行と実現

## 組込み市場の変化への対応

**AaA**  
actionandachievement  
実行と実現

差別化された新製品

パートナーとの協業

トータルシステム  
の提供

主力分野  
65% → 55%

現在の  
主力分野

半導体/液晶  
製造装置

FA用制御装置

CTI/FAX  
サーバ・  
コールバックセンタ

電力制御装置

新しい分野  
35% → 45%

新しい  
応用分野

メディカル・薬剤・  
バイオ・食品

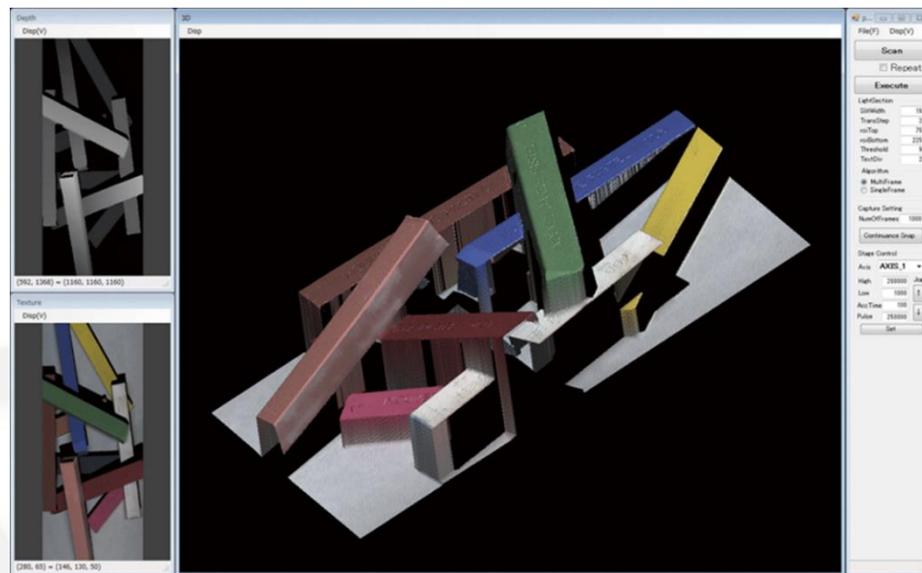
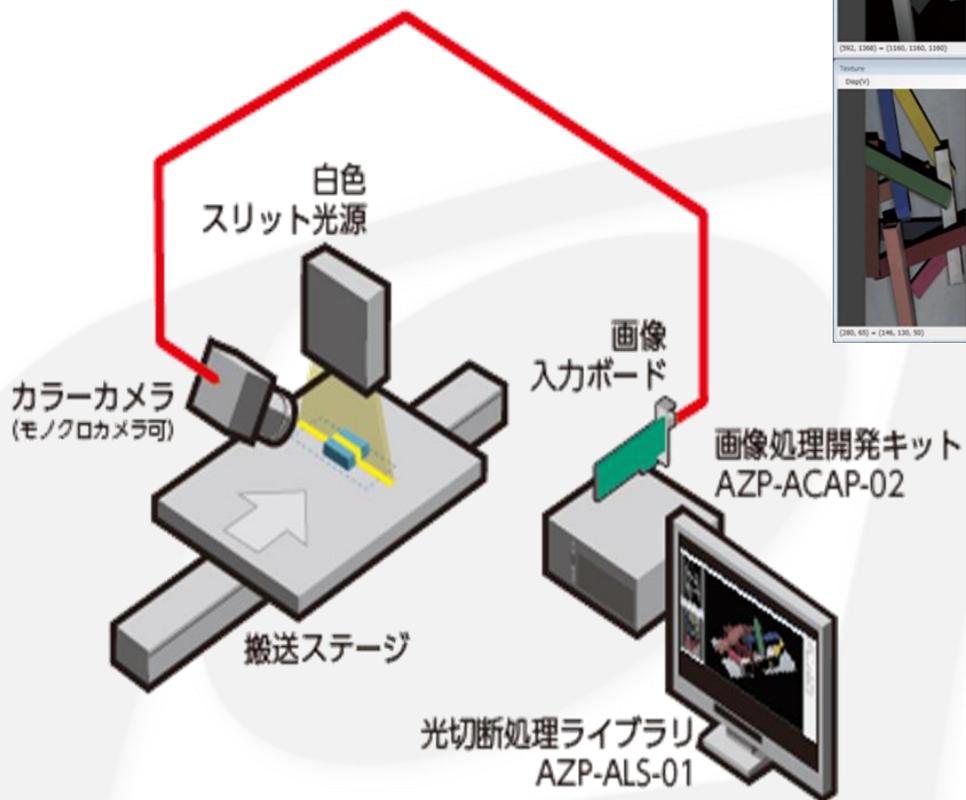
パワーデバイス  
イメージセンサ・LED

パワーソリューション・  
スマートオフィス/ビル

車両・船舶・  
地震計・データセンタ



## 光3D計測



### 映像情報AWARD 金賞

株式会社アバルデータ  
AZP-ALS-01

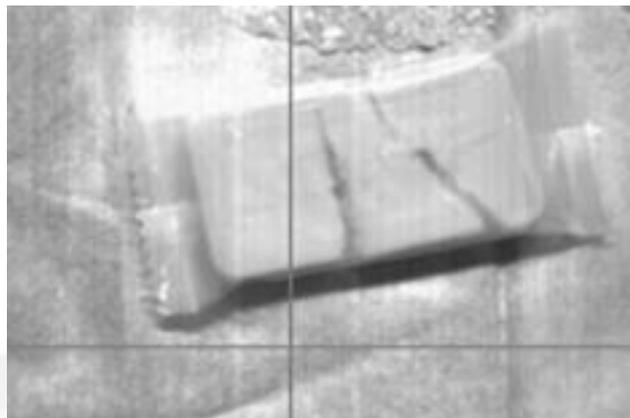
貴社の製品は『第12回映像情報AWARD』において多数の読者から支持を得、栄えある金賞に輝きました。独自の着想に基づく開発成果を讃えここに賞します。

2015年3月吉日  
産業同業機構株式会社  
映像情報インダストリアル部

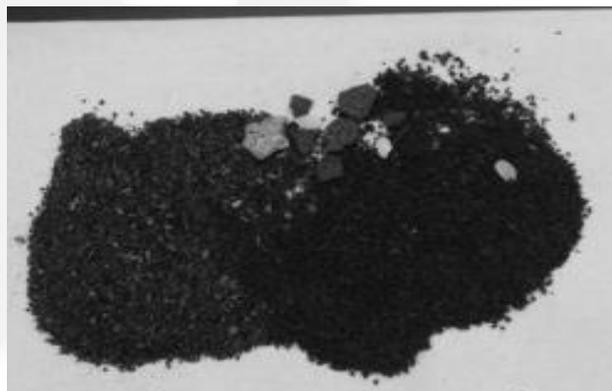
## 近赤外線カメラ



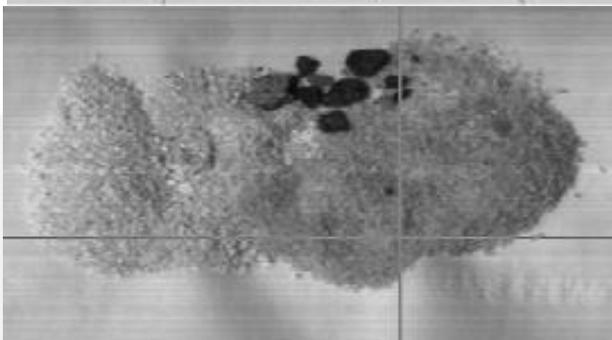
可視光では、見えなかった  
モノを見えるようにする



菓子の割れ  
左：近赤カメラ

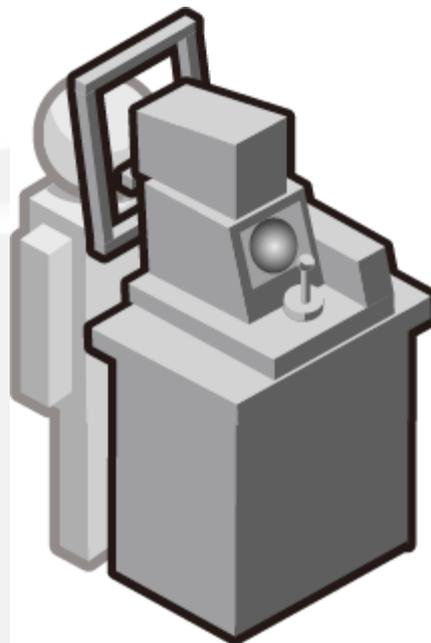


茶葉の異物  
上：白黒カメラ  
下：近赤カメラ



# 高速A/D

採用例：眼底カメラ



センシングの高速化、  
高性能化を推進



A/D+光通信

## 新たな飛躍

成長事業の確立(新分野への挑戦)

体質強化(スリムな企業体質)

生産性の拡大(微細化、多品種)

連結  
売上

77億円

経常  
利益率

11%

ROE

8%

配当  
性向

35%

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。